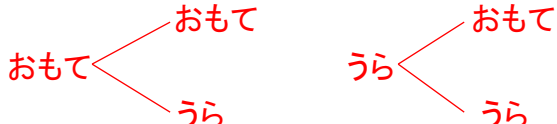


◇◇ <確率 よくある問題 硬貨> ◇◇

【1】 100 円硬貨を 2 枚投げ、表・裏のどちらが出るかを調べます。

(1)  ※個人的に「表」と「裏」の文字が紛らわしいので、ひらがなで表しています。自分で紙に描く時は「お」と「う」で書いているよ。()
 ... この 4 通り! (4 通り)

(2) 2 枚とも表が出る確率を求めなさい。 上の樹形図から... ($\frac{1}{4}$)

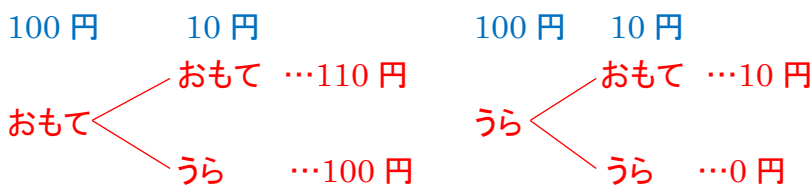
(3) 1 枚が表、1 枚が裏になる確率を求めなさい。 同じく... $\frac{2}{4} =$ ($\frac{1}{2}$)

(4) 表が 1 枚も出ない確率を求めなさい。 「うらーうら」の場合だけだよ! ($\frac{1}{4}$)


(5) 少なくとも 1 枚は表が出る確率を求めなさい。
 ↑この言葉! 注意! 「少なくとも 1 枚」ということは、「2 枚」の場合も当てはまるということだよ(^o^)
 ということで、「おもてーおもて」「おもてーうら」「うらーおもて」の 3 通りあるので... ($\frac{3}{4}$)

【2】 100 円硬貨と 10 円硬貨を 1 枚ずつ投げ、表・裏のどちらが出るかを調べます。

(1) 表と裏の組み合わせは全部で何通りありますか。
 硬貨の種類が別々でも、2 枚投げる時の表・裏の組み合わせは【1】の(1)と同じだよ! (4 通り)

(2) 表が出た硬貨の金額の和が 100 円以上になる確率を求めなさい。
 ← このように硬貨の種類を書き入れ、「おもて」が出た硬貨の合計金額も書き入れて、100 円以上になる場合がいくつあるか数えよう!
 ◇「100 円以上」は 100 円も含むよ(^o^)
 $\frac{2}{4} =$ ($\frac{1}{2}$)

【3】 100 円硬貨、10 円硬貨、5 円硬貨を 1 枚ずつ投げ、表・裏のどちらが出るかを調べます。

(1) 表と裏の組み合わせは全部で何通りありますか。 ✓ ↓ 3 枚の時の樹形図だよ! (金額は「おもて」のみで数えた金額)
 (8 通り)

(2) 1 枚が表、2 枚が裏になる確率を求めなさい。 上の樹形図から... ($\frac{3}{8}$)

(3) 少なくとも 1 枚は表が出る確率を求めなさい。 → 1 枚でも表が出ていれば当てはまるよね! ($\frac{7}{8}$)

(4) 表が出た硬貨の金額の和が 10 円 未満になる確率を求めなさい。 10 円は 含まないよ! $\frac{2}{8} =$ ($\frac{1}{4}$)

「お」と「う」の樹形図、ぜひ自分でも描いて ◇◇ ふたばプリント ◇◇ 練習してね! お金の計算も丁寧に(^o^)_¥